

事業番号	06 03 04	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水資源保全対策事業費			担当課	部局	環境部	
総合5か年計画	プロジェクト	3-3-1 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト		課・局・室	水大気環境課		
	施策の総合的展開	3-2 豊かな自然環境の保全 1 水・大気環境の保全		E-mail	mizutaiki@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	5-1 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり		実施期間	S50 ~		
	施策展開	4-(1) 確かな暮らしを支える地域構造の構築 (イ) 既存資産のマネジメント強化					

## 1 事業の概要

目指す姿	本県の豊かな水資源を現在及び将来にわたって享受できるよう、水資源の保全を推進するとともに、適正な利活用との調和を図りつつ、健全な水循環の構築を図る。 成果目標：保全が必要な水源の水資源保全地域指定率100% (H29)		
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的不明な森林買収や地下水の豊富な地域における地下水利用企業の進出等により地下水への影響が懸念される。</li> <li>・農地、森林の荒廃地の増加による涵養機能の低下や都市化に伴う地下浸透機能の低下により地下水の減少が懸念される。</li> <li>・人口の減少による減収、施設の老朽化や耐震対策による経費増など、小規模水道事業者を中心に厳しい経営状況が見込まれ、安心安全な水道を今後も維持していくための方策を検討する必要がある。</li> </ul>		
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 第5次水環境保全総合計画、長野県豊かな水資源の保全に関する条例、全国水需給動態調査委託業務実施要領	
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全が必要な水源について水資源保全地域に指定(年度末指定率70.0%)</li> <li>・安心安全な水道を将来にわたって維持していくための方策、目標など県内の水道のあり方を示す「長野県水道ビジョン」の策定に向けた検討会等の開催</li> </ul>		
	② 事業内容 (単位:千円)		
	項目	実施方法	H28事業実績
			H28 (当初) H28 (決算) H29 (当初)
水資源保全地域の指定	直接	・水資源保全地域の指定(2地域2水源) ・水資源保全地域における事前届出制度の実施	0 0 0
長野県水道ビジョン策定事業	直接	検討委員会を3回開催し、長野県水道ビジョンを策定(計画的な施設更新、災害対策、広域的な連携策等の検討)	286 230 0
全国水需給動態調査事業	直接	県内の水需給の現状と動向を把握するための調査を実施	114 106 94
		合計	400 336 94

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越	0	0	0	項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	1,421	400	94				目標	成果	達成状況	
		補正予算	0	0	0	保全が必要な水源の水資源保全地域指定率	2.1%	12.3%	70.0%	15.0%	未達成	100%
		合計(A)	1,421	400	94	長野県水道ビジョンの策定	—	—	H29年3月策定	H29年3月策定	達成	—
	Aの財源	一般財源	1,301	286	0							
		県債	0	0	0							
		国庫支出金	120	114	94							
		その他	0	0	0							
		決算額(B)	1,305	336								
概算人件費		職員数(人)	2.40	2.40	2.40							
	概算人件費(C)	19,862	18,994	18,994								
	概算事業費(B(A)+C)	21,167	19,330	19,088								

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域指定は、該当区域の調査、地権者への説明等に時間を要している市町村が多く、平成28年度の新たな指定は2地域2水源、年度末の指定累計は13地域16水源となっており、目標の達成には至らなかった。(水資源保全地域指定率:平成28年度末までに指定した水源16か所/保全が必要な水源107か所)</li> <li>・人口減少社会の中においても、県民のライフラインである水道を将来にわたり安全安心に維持していくための目指すべき方向や取るべき方策等を示し、県水道関係者の共通の取組指針となる「長野県水道ビジョン」を策定した。</li> </ul>
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水資源保全の必要性については、各市町村において認識しており、水資源保全地域の指定を進める。</li> <li>・水道事業者等への助言、研修会の実施等を通じて個別事業者の取組を促進するとともに、広域連携を推進するため9圏域ごとに「検討の場」を設置し、水道事業者間の必要な調整や支援を行う。</li> </ul>